

関税政策

関税局関税課
課長補佐

入江 千尋

IRIE Chihiro

平成23年度入省 理工



制度づくりの先にあるもの

創るのは、日本の貿易と産業を守る制度

経済・社会の変化に対応するため、関税政策や税関行政に関する法令は毎年改正されています。その企画立案を担っているのが、関税課です。

関税は、通商政策上の重要なツールです。中でも不当廉売(アンチダンピング:AD)関税は、不当廉売された輸入貨物によって損害を受けた国内産業を保護するために課される割増関税で、世界貿易機関(WTO)協定に規定され、世界で最も多く発動されている貿易救済措置です。

日本では近年、AD関税の発動が増加する一方で、課税範囲から形式的に外れることで課税を免れようとする迂回の問題も顕在化しています。こうした状況を踏まえ、AD関税の実効性を適切に確保するため、迂回防止制度の創設に取り組んでいます。

私は、税関行政やAD関税の課税に関する調査で培った知見をもとに、この制度創設に携わっています。国際業務の経験を活かし、WTOの会議に参加して外国当局と意見交換するなど、迂回動向や調査実務に関する情報収集にも取り組みました。日本の実情とWTO協定の目的・趣旨に沿った制度となるよう、関係者と検討を重ねています。

新制度の創設は重い責任を伴いますが、これまでの経験を糧に新たな領域へ挑戦できる、やりがいのある業務です。

働くのは、日本、そして世界、自分のために

税関総合職は、政策立案にとどまらず、税関の現場での業務に携わり、他国と国際舞台で協力や交渉を行うなど、幅広いフィールドで専門性を深めながら活躍できる仕事です。

関税は、徴税、違法薬物等の取締り、貿易円滑化といった重要な社会的役割を担っており、国際的なソフトインフラとして機能しています。また、国を越えて「税関ファミリー」と呼ばれることがあるように、各国の税関当局同士は良好な関係を築いています。

日本は、世界税関機構(WCO)やWTOを通じた国際ルールや基準の策定等の政策面に加え、途上国税関への能力構築を目的とした技術支援の面からも、国際社会に積極的に貢献しています。

国際貿易は、経済・社会動向や各国の政策対応に伴い大きく変化しています。サプライチェーンの複雑化や、Eコマースを始めとする貿易取引の拡大、密輸の巧妙化が進む中、税関にも進化し続けることが求められています。そのため、税関では制度と業務の見直しを行いつつ、新たな取組みに挑戦し続けています。

このような環境にある職場だからこそ、多様な経験を積み、成長し続けることができます。日本のために、そして世界のために、自分自身を成長させながら働いてみませんか。



関税政策

関税局関税課
上席調査官

江越 晴樹

EGOSHI Haruki

平成26年度入省 工学

関税を通して日本と向き合い未来を考える

法令に刻み込む

2025年は関税が非常に高い注目を集めました。多くの企業が世界各地に展開し複雑なサプライチェーンを形成している現代において、関税政策は日本経済に影響する重要な要素となっています。

関税には国内法で定めているものとWTO協定やEPA等の国際約束で定めているものがありますが、私が所属する関税課では前者を担当しています。最大の仕事は、年に一度、関係省庁から要望を受け付け、検討し、法令改正を行うことです。関税が課せられると、国内産業は保護されますが、消費者にとって輸入品の価格が上がることになります。そのため、政府全体の方針に沿っているか、関係省庁の政策や予算措置がどうなっているかを踏まえ、国益となる改正案は何かを考えています。

また、担当としては改正案を法令に落とし込むのも大切な仕事です。関税には一定数量に限って低関税の枠を設定したり、用途を限定して無税にしたり、輸入の急増時に関税率を引き上げたりと複雑な制度の品目もあり、そうした規定を読むと過去の関税交渉の厳しさや、先輩方の法整備の苦労と工夫を感じます。法令は将来にわたって判断の規範となるため、責任を感じながら、一言一句を考え抜いています。

現場と直結

政策を企画・立案し推進する際に、現場が困らないか、どのようにしたらより上手くワークするかという観点は必要不可欠な要素だと思っています。

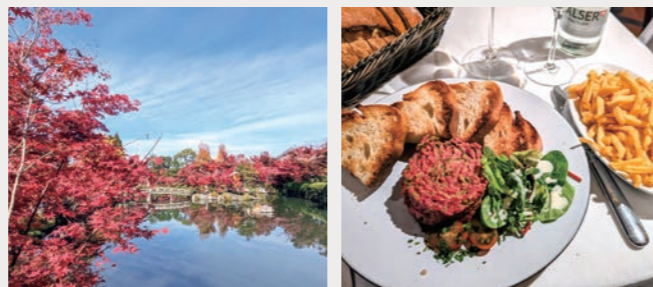
関税局は法令を所管する制度担当であり、税関のヘッドクォーターであり、国際担当でもあります。これら、関税・税関行政の政策を担っている部署が1つの局でまとまっているうえに、それを執行する税関も地方自治体ではなく国の機関として財務省にあります。そのため、政策を検討する際に、現場の状況や各国の制度についての情報収集、政策の検討や意思決定、推進する際の関係者間での連携が取りやすいのが魅力です。

税関総合職は関税局・税関の各部署を異動し、様々な業務をする機会が得られます。私自身、関税局のシステム部署にいたことや実際に税関現場で輸出入の審査・検査や密輸入貨物の取締をしていたことがあります。現在、関税率を担当していますが、こうした経験が現場の執行をイメージする際の大きな助けになっていますし、当時気づいた課題に対して、現在では解決する立場で向き合う機会が得ることができ、やりがいを感じています。あなたも、関税局・税関で一気通貫の行政をしてみませんか。

MY PRIVATE TIME

基本的には家でのもんびり過ごすことが多いです。趣味で仕舞(喜多流)のお稽古に通い、能楽鑑賞に出かけることもあります。

旅に出る機会は多くありませんが、景勝地や史跡を巡ったり、現地ならではの体験を楽しんだりしています。旅先では、ローカル料理や季節の料理を味わうことも欠かせません。出張先でもその楽しみは変わらず、直近のスイスでは用務終了後に、栗のスープやタルタルステーキ、チーズフォンデュを堪能しました。



MY PRIVATE TIME

休みのときは仕事を忘れ、趣味のラジオやゲーム、食事&酒を楽しんでいます。ラジオを聴きながら車で遠出をして、道の駅で食材とお酒を買って帰り、家で飲むのが最近のマイブームです。

また、最近ではラジオのイベントやゲームの大会が大規模に開催されるようになり、色々と観に行っています。先日、好きなゲームの世界大会が札幌ドームで開催されたので、年休をもらい全日程観戦に足を運びました。

